

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	ソフト事業	1次評価のみ対象分
コード	名称		区分	コード	名称
事業名	342	訪問介護特別対策事業	会計	01	一般会計
基本施策	06	高齢者の健やかな生活を支える	款	03	民生費
施策	5	介護保険サービスの充実	項	02	老人福祉費
			目	01	老人福祉総務費
			細目	121	介護保険事業
			細々目	02	訪問介護特別対策事業
基本計画該当頁	64	担当部課	コード	130200	評価者氏名
行革大綱の重点事項番号		名称		高齢障害課	増田 基生
					連絡先
					22 - 9657 (内線) 2620

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
	訪問介護を利用する生計困難者 (対象件数)	利用者負担額を減額することで、経済的な負担・不安を軽減する。
開始年度	平成 16 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
		伊賀市障害者に係る訪問介護等利用支援実施要綱
本年度事業内容	利用者負担額の減額補助	状況変化等

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	() 人
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
利用者数	人	目標	60	60	60
		実績	55		
		目標			
		実績			
		目標			
		実績			
		目標			
		実績			

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
利用者数	介護保険サービスの適正な給付につながる。	人	目標	60	60	60
			実績	55		
			目標			
			実績			

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	生計が困難な人にとって、利用者負担額を減額することで、サービスを安定的に受給してもらえることから、必要性は高いと評価する。
有効性	4	生計が困難な人にとって、利用者負担額が減額されることはサービス受給につながり有効であるといえる。
達成度	4	適正に補助金を交付できたことにより達成度は高いと評価する。
効率性	4	コスト削減は難しい。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	介護保険課と高齢障害課の業務の整理が必要である。

年度	委託	工事	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容						
			事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額				
進捗状況	⇔	⇔	手数料	1	式	70	手数料	1	式	40	手数料	1	式	69	手数料	1	式	69
			扶助費	1	式	2,260	扶助費	1	式	1,155	扶助費	1	式	1,995	扶助費	1	式	1,995
進捗率(%)			事業費計(A)			2,330	事業費計(A)			1,195	事業費計(A)			2,064	事業費計(A)			2,064
事業投入人員			人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)		人	0	人件費(B)		人	0
フルコスト(A)+(B)						3,050				1,915			2,064					2,064

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	2,330	1,195	2,064	2,064
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	1,694	866	1,496	1,496
	地方債				
	受益者負担				
	その他				
	一般財源	636	329	568	568
	計	2,330	1,195	2,064	2,064
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	訪問介護利用者負担額特別対策事業費補助金	訪問介護利用者負担額特別対策事業費補助金	訪問介護利用者負担額特別対策事業費補助金	訪問介護利用者負担額特別対策事業費補助金